

## ●第2次甲賀市観光振興計画第3期基本計画の策定にかかるパブリック・コメントの実施結果について

○パブリック・コメント実施 令和6年12月1日～令和7年1月6日

○意見提出者 2名

○意見内容 3項目

通し 番号	計画 ページ	いただいた意見	修正の 有無	ご意見に対する市の考え方
1	P25	<p>第2次甲賀市観光振興計画案の素案を拝読致しましたので意見を述べさせていただきます。甲賀市は忍者の街で有名で忍者の体験イベントや伝統芸能を継承、保存は大切な事です。時に伝統芸能水口曳山祭は昔ながらの伝統芸能の一つであり滋賀県内外は勿論、外国の人まで人気のあるお祭りです。</p> <p>水口曳山祭の伝承をどう引き継ぐか問わるかもしれません。お祭り以外にも水口囃子の体験イベントをすれば、もっと水口囃子が盛り上がると思います。これで意見とさせていただきます。</p> <p>水口祭を啓発して欲しい。</p>	無	<p>水口曳山祭は、水口神社の例大祭として、水口まつり保存振興会が主催される事業であります。その中で演奏される水口囃子については、地域の方々が中心となり取り組み、祭りを盛り上げていただいております。</p> <p>また、水口曳山祭は滋賀県の無形民俗文化財として指定され、多くの方が来訪される行事でもありますことから、水口囃子を含め、当市の観光によるまちづくりの観光資源のひとつであると考えております。計画のP25「③市民主体の観光のまちづくりの促進と地域の誇りの醸成」により、今後も観光誘客に寄与していただける取組に対し、関係する団体の皆様と連携協力しながら、側面的に支援していく考えでありますことから、情報発信にも引き続き取り組んでいきたいと思っております。</p>
2	P24 P35	<p>忍者の観光も必要。</p>	無	<p>「甲賀流忍者」は「忍びの里 伊賀・甲賀ーリアル忍者を求めてー」として日本遺産に認定されており、本市としても計画のP24「①忍者の歴史・実態の調査と発信」の取組により、本市が持つ“リアルな忍者”が感じられる歴史や文化を発信し、観光に繋げてまいりたいと考えます。また、P35「①忍者をキーワードとする自治体間連携の強化」として、伊賀市との関係を軸にしながら、日本遺産「忍びの里伊賀・甲賀」の更なる活用に取り組んでまいります。</p>
3	P34	<p>以前、信楽に注目して観光の調査をしたことがあります。あくまで自分が調査した範囲内ではありますが、観光客へのアンケートの中で情報発信に課題がある旨の回答が目立ちました。特に紫香楽宮跡駅のパークアンドライド駐車場をそもそも知らなかったという人が多く見られ、自分も実際に信楽に行ってみましたが、確かに初見ではなかなか気づきにくいかもしれないと感じました。インターネットでの情報発信は全国、全世界に発信できて非常に便利ですが、それに加えて現地を含めたリアルな場所での積極的な情報発信も必要だと思っております。例えば可能であれば新名神信楽IC口の交差点に目立つ案内板（パークアンドライド駐車場等）を設置するなど。</p>	無	<p>仰せの通り、現地での案内等の情報発信は重要と考えております。ご意見をいただいた効果的な箇所への看板やサイン整備についても継続的に検討し、現地での情報発信に取り組んでまいりたいと考えます。また、現地での情報発信やご案内については、（一社）甲賀市観光まちづくり協会や信楽町観光協会が担っております。計画のP34「①観光協会の機能強化」に取り組むことで、現地での情報発信についても強化してまいりたいと考えております。</p>